

事業所名

児童発達支援 にじっこらんど

## 支援プログラム

作成日

令和7年

1月

22日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの個性を大切に、一人ひとりが輝ける療育を目指します。</li> <li>子どもが将来社会の一員として幸せに暮らせるよう、遊びやスポーツを通じてその土台作りのお手伝いをします。</li> <li>保護者と関係機関（保育園・幼稚園・小学校）との連携を大切にします。</li> </ul>					
支援方針		地域で生活する発達の障がい、あるいは疑いのある児童一人ひとりの状況に応じながら、児童の発達段階や特性に合わせたプログラムを実施。プログラムの中で、心と身体の成長をセラピーや運動を通して、「がんばった」「できた」という経験を増やし、利用する児童及び家族の福祉の向上や増進に寄与する事に努めます。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握（来所時の検温、日々の様子観察など）</li> <li>基本的な生活リズムが身に付くよう支援を行う</li> <li>子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練（時間に応じた行動の切り替えなど）</li> <li>生活環境を整える（特性に配慮した掲示物や子どもへの指示）</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と運動、動作の基本的技能の向上（ゲーム感覚で楽しめる運動など）</li> <li>身体能力の向上（サーキットやリトミック、公園遊びなど）</li> <li>保有する感覚の活用（粘土やスライム遊びなど）</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付や天気の状態と確認による感覚、数の認識を形成</li> <li>視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、認知機能の発達を促す活動（五感を刺激する身体遊びなど）</li> <li>数量、大小、色等の習得（発達段階に対応した数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得の為にアプローチ）</li> <li>小集団における活動での適切な行動形成、認知の偏りの配慮</li> </ul>					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>始まりの会であいさつ、終わりの会で活動振り返り等の言語コミュニケーションを図る</li> <li>ルールなどを絵カードを使って視覚化・トラブルが起きたときの問題解決や感情のコントロールの仕方を支援</li> <li>個別または集団において学習の支援</li> </ul>					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>デイに慣れ、決まりがあることやその大切さに気づく</li> <li>身の回りに様々な人がいることに気づき、徐々にお友達と関わって遊ぶ</li> <li>社会性の発達の支援（ごっこ遊び、遠足など）</li> <li>集団への参加の支援（集団遊びなど）</li> </ul>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整</li> <li>子育て上の課題の聞き取りと必要な助言</li> <li>個別の面談等の実施</li> </ul>		移行支援		幼稚園・保育園等への移行支援、就学に向けた小学校への情報提供、幼稚園・保育園等との情報共有等の連携	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携</li> <li>教育機関の関係者との連携</li> <li>個別のケース検討のための会議への出席</li> </ul>		職員の質の向上		事業所内支援会議、事業所内研修、外部研修参加、支援に対する意見交換など	
主な行事等		季節行事					